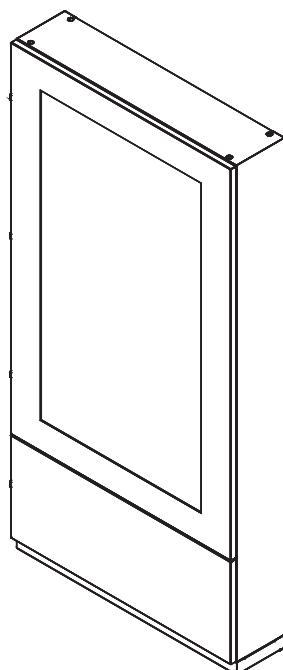


取扱説明書

屋外ケーシング（FFP-OCS-Yシリーズ）



FFP-OCS-Y



警告

ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

目次

■ 安全上のご注意/警告・注意	1
■ 製品紹介・梱包部品	2
■ 設置前準備をする	3
■ 「ベース」を設置する	4
■ 「本体」を「ベース」に設置する	5
■ 「本体」に「ボルトキャップ」を取り付ける	5
■ 電源配線について	6
■ 「モニターブラケット」を取り出す	7
■ 「ブラケットベース」の前後位置調整を行う	8
■ 「ルーバー」の調整をする	9
■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける	10
■ ディスプレイ配線の通し方	11
■ 運転方法	12
■ 保証書	13



日本フォームサービス株式会社

M 2017.12.7 第1版

安全上のご注意

必ずお守りください

お買い上げありがとうございました





ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。また、本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、誠に恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社 TEL：03-3636-0011 URL：http://www.forvice.co.jp Mail：info@forvice.co.jp

■お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

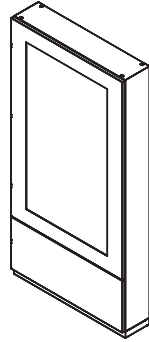
 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

警告・注意

-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  電気工事は「電気設備に関する技術基準」、
「内線規定」、及び本書に従って施工してください。
-  銘板や仕様の表示に従い、電源電圧を必ず守ってください。
-  工事、点検時は全ての開閉器および遮断機を必ず切ってください。感電および短絡による人身事故の恐れがあります。
-  配線は適切な電線、圧着端子および圧着工具を使用し絶縁処理を行ってください。発熱、火災、感電、短絡の恐れがあります。
-  雨天時等、水が浸入する恐れがある場合は、施工、点検作業を行わないでください。
-  機器に1.5Gを超える衝撃を与えないでください。1.5Gを超える衝撃を与えると性能低下や故障の原因となります。
-  ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  基礎が「ケーシング」本体重量220kgとディスプレイ質量に十分耐えることを確認してください。
-  本製品の仕様を確認し、適切な本製品専用の漏電遮断器を取り付けてください。
-  アース線は必ず接地をしてください。
-  引火性ガス・爆発性ガスが存在する場所には設置をしないでください。遮断機のスパークなどにより、爆発・火災の原因となります。
-  塩分を含む空気・腐食性ガス及び水蒸気・油蒸気にさらされる場所には設置しないでください。これらの存在する場所に設置すると、遮断機・スイッチの接触不良をおこし、性能の低下や故障の原因となります。
-  鉄粉及び有機材のシリコンなどを含む粉塵が多い場所には設置しないこと。遮断機・スイッチの接触不良をおこし、性能の低下や故障の原因となります。

■ 製品紹介

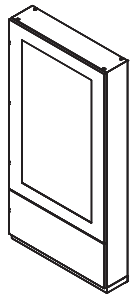
屋外ケーシング



型番	FFP-OCS-Y
質量	220kg (ディスプレイを含まず)
搭載可能最大寸法	W1470 × H845 × D147 (mm)
取付可能なディスプレイサイズ	55 / 60 / 65V

■ 梱包部品

屋外ケーシング 梱包部品



本体…1台

	<p>六角ボルト (M12×25)…8本</p>	<p>六角ボルト (M12×30)…2本</p>	<p>座金組込ねじ (M6×14) …4本 (M6×18) …4本 (M8×20) …4本</p>
<p>六角ナット (M12)…2個</p>	<p>バネ座金…10枚</p>	<p>平座金…12枚</p>	<p>M6 ネジ取付用 スペーサー…4個</p>
<p>ボルトキャップ…4本</p>	<p>鍵…2本</p>	<p>取扱説明書…1部</p>	<p>エアコン用 取扱説明書…1部</p>

■設置前準備をする

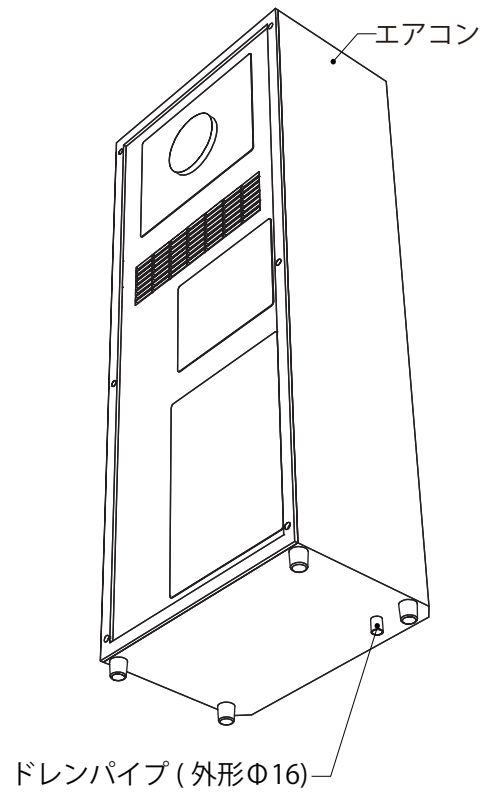
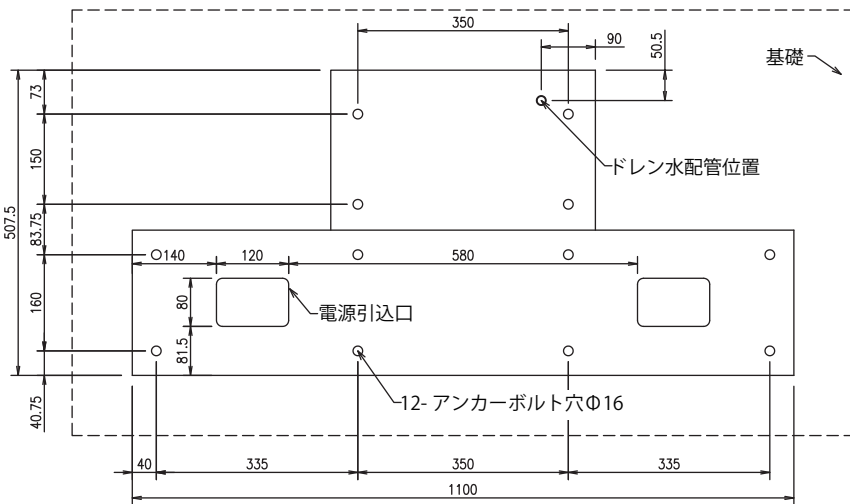
1. 「屋外ケーシング」本体を設置する前に、下記図1の「電源引込口」とドレン水配管の位置を確認して基礎工事を行ってください。
2. 「エアコン」下部に「ドレンパイプ」があります。確実に排水されるよう必ずドレン工事を行ってください。また、ドレン水はスムーズに流れるよう下り勾配をつけて排水処理を行ってください。
3. 下記図1のアンカーボルト穴に従ってアンカー工事を行ってください。
4. 下記図2の「基礎」、「本体ベース」、「クーラーベース」を設置するスペースが十分にあることを確認して設置を行ってください。



基礎が「ケーシング」本体重量220kgとディスプレイ質量に十分耐えることを確認してください。

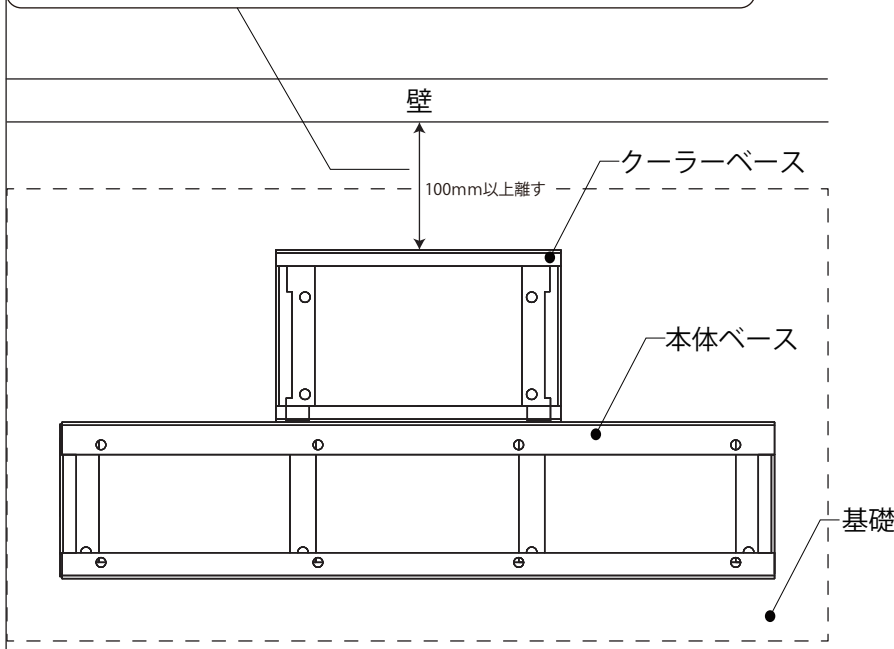
屋外ケーシングベース 平面図

図1



※本体背面から壁まで100mm以上離して設置してください。

図2



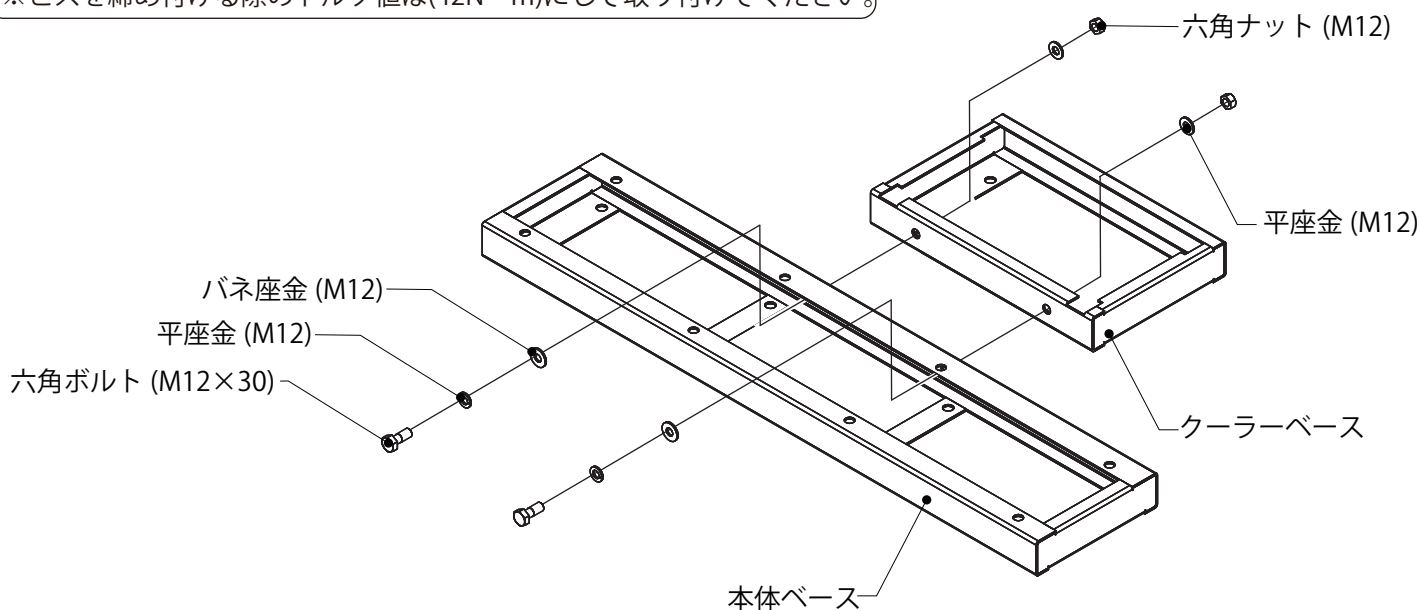
■ 「ベース」を設置する

使用する工具

スパナ (対辺 19mm)

1. 「本体ベース」と「クーラーベース」の水平を出してください。(水平レベルは1mに対して1mm以内)
「アンカーボルト(M12)」を使用して、「本体ベース」と「クーラーベース」を「基礎」に固定してください。
2. 「本体ベース」と「クーラーベース」を連結します。
連結する際は付属の「六角ボルト(M12×30)」2本、「平座金(M12)」2枚、「バネ座金(M12)」2枚を
「本体ベース」側から通し、「クーラーベース」側から「平座金(M12)」2枚、「六角ナット(M12)」2個を
使用して連結してください。

※ビスを締め付ける際のトルク値は(42N・m)にして取り付けてください。



■ 「本体」を「ベース」に設置する

使用する工具

スパナ (対辺 19mm)

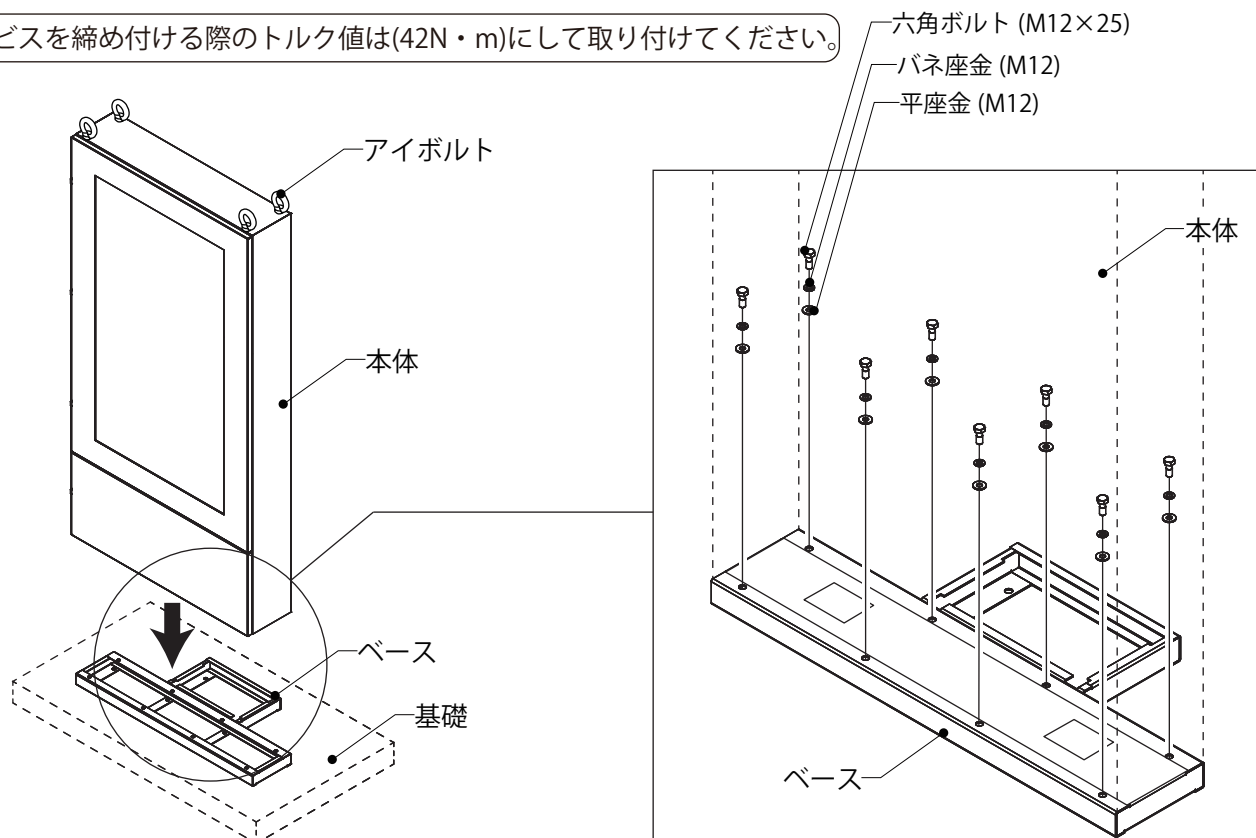
使用する工具

マイナスドライバー

1. 「本体」と「ベース」を連結します。

連結する際は付属の「六角ボルト(M12×25)」8本、「平座金(M12)」8枚、「バネ座金(M12)」8枚を使用して固定してください。

※ビスを締め付ける際のトルク値は(42N・m)にして取り付けてください。

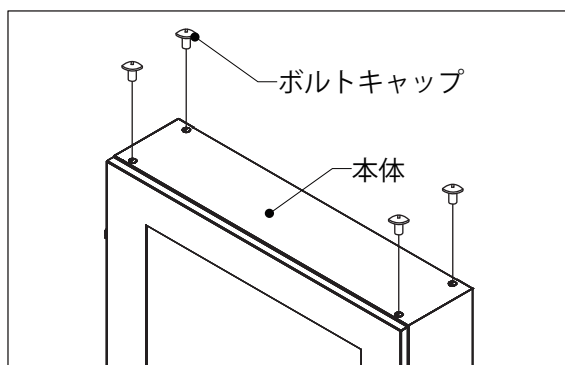


吊り上げの際ワイヤーの吊り角度は60度以下にして作業を行ってください。



製品にガラスが付いているので破損や怪我などには十分に気をつけてください。

2. 「本体」を「ベース」に固定後、「本体」上部の「アイボルト」4個を外し、同じ場所に付属の「ボルトキャップ」を4本取り付けてください。



■ 電源配線について

1. 下記図に従い配線を行ってください。



銘板や仕様の表示に従い、電源電圧を必ず守ってください。



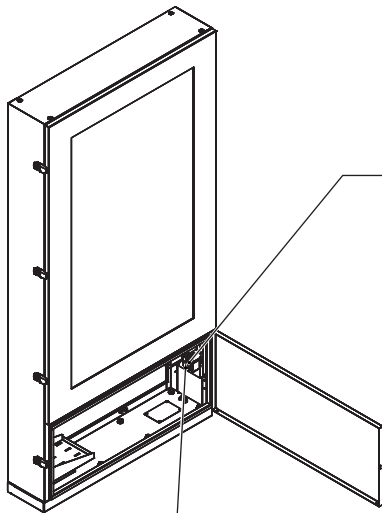
電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び本書に従って施工してください。



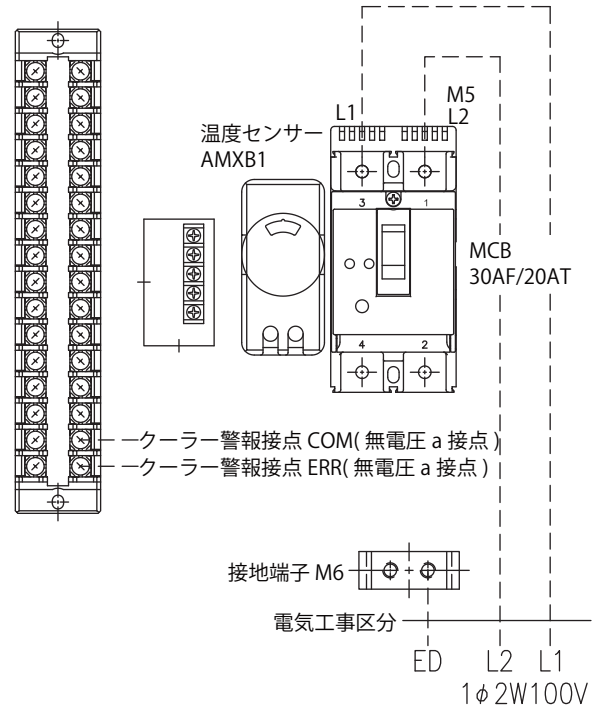
本製品の仕様を確認し、適切な本製品専用の漏電遮断器を取り付けてください。



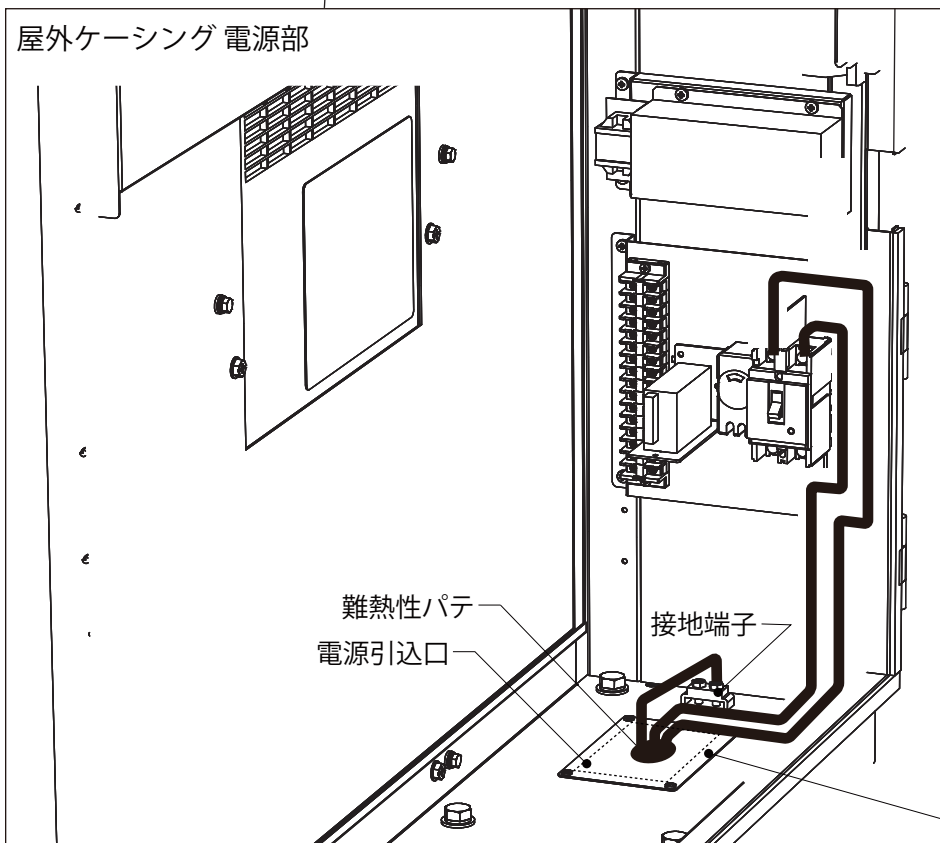
アース線は必ず接地をしてください。



屋外ケーシング 電源部



屋外ケーシング 電源部



※ブレーカーは圧着端子 (M5)×2
接地端子は圧着端子 (M6)×1
が必要です。工事担当者にてご準備
ください。

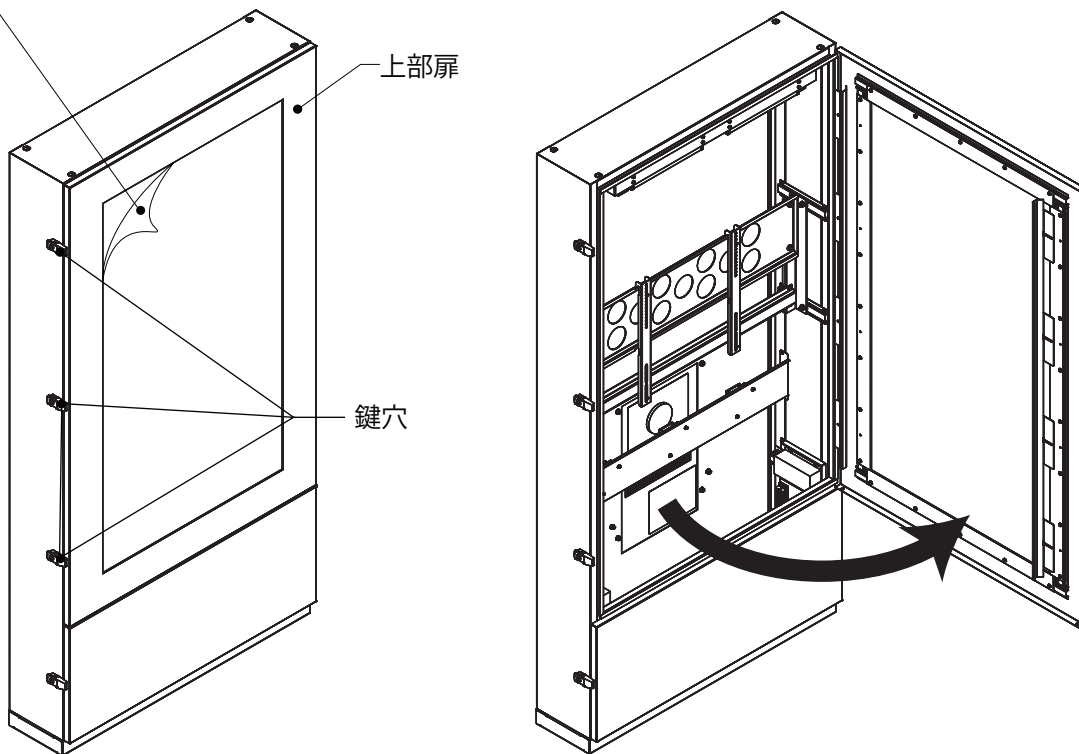
※「外部ケーブル」は適切な
ケーブルサイズを選定の上、
接続してください。

※「塞ぎ板」に組み付いている
ネジ4箇所を外し「外部ケーブ
ル」に合わせた穴加工後、
ネジ4箇所を取り付けてくだ
さい。配線後は難熱性パテで
シールしてください。

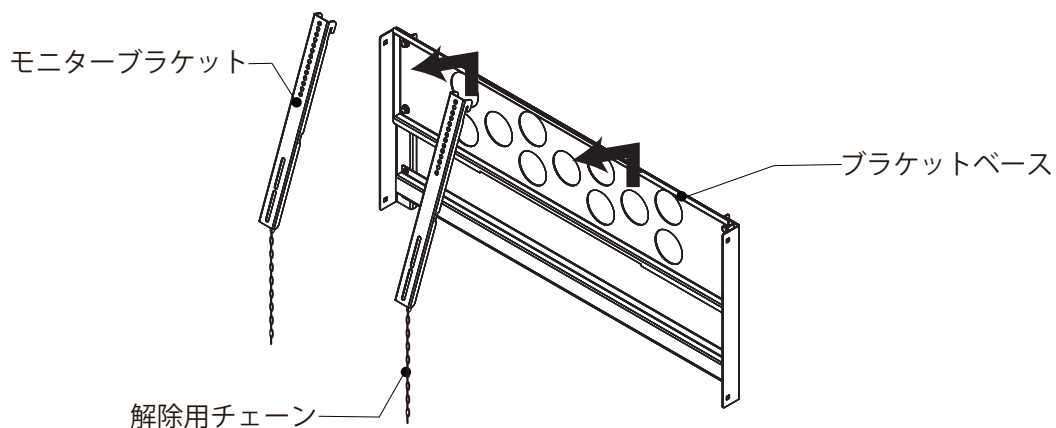
■ 「モニターブラケット」を取り出す

1. 「上部扉」を付属の鍵を使って開けてください。

※ガラス前面に保護フィルムが張ってあるので剥がしてください。



2. 「モニターブラケット」についている「解除用チェーン」を下方向へ引っ張り、「モニターブラケット」を「ブラケットベース」から取り外します。



■ 「ブラケットベース」の前後位置調整を行う

使用する工具

スパナ (対辺 10mm) (別売)

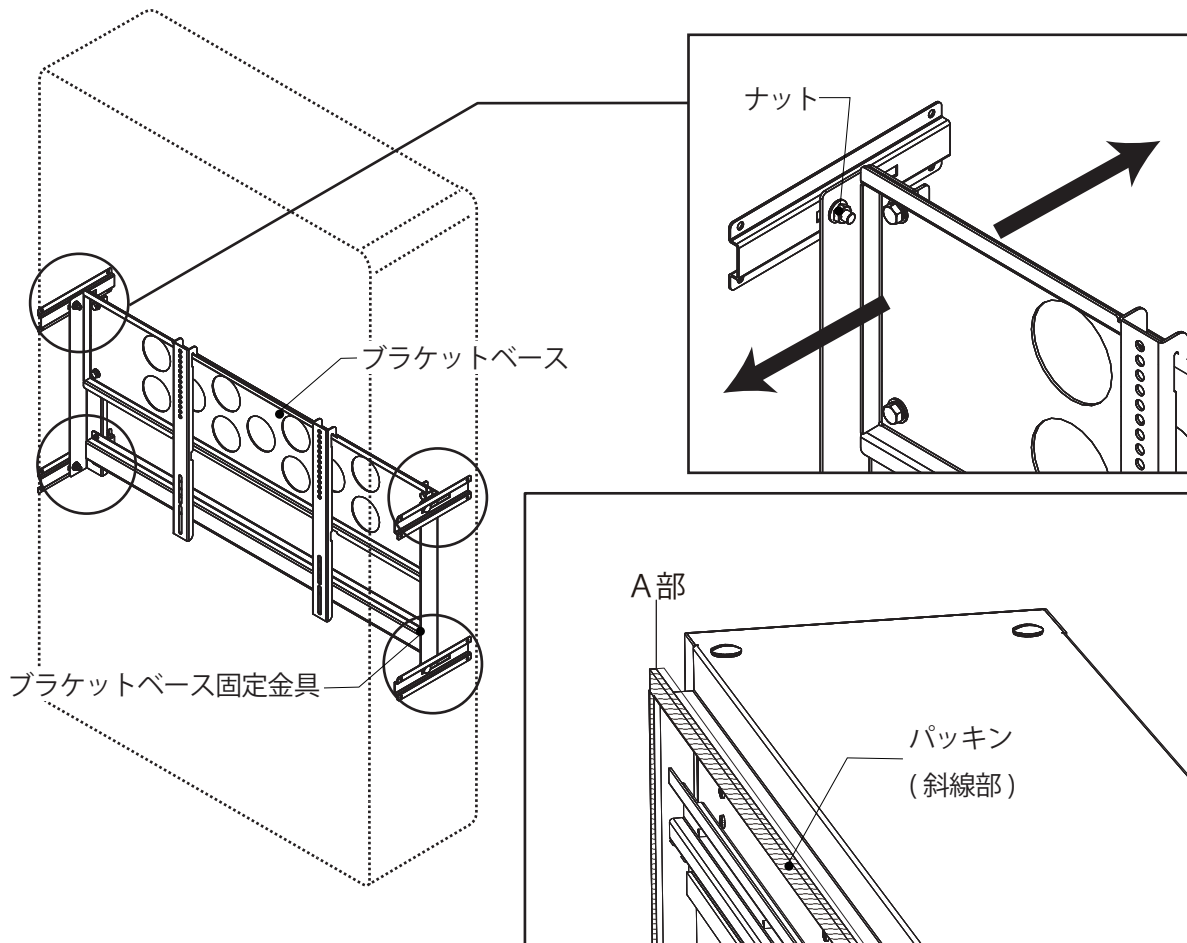
1. 「ブラケットベース固定金具」の「ナット」上下左右4箇所を緩めてください。その次に下の図を参考に「ブラケットベース」を前後させて「ブラケットベース」が任意の位置に来るよう調整してください。
2. 「ブラケットベース固定金具」の位置が定まったら、「ナット」4箇所を確実に締め付けてください。



ナットは確実に締め付けてください。ディスプレイ落下などによる破損・けがの原因となります。

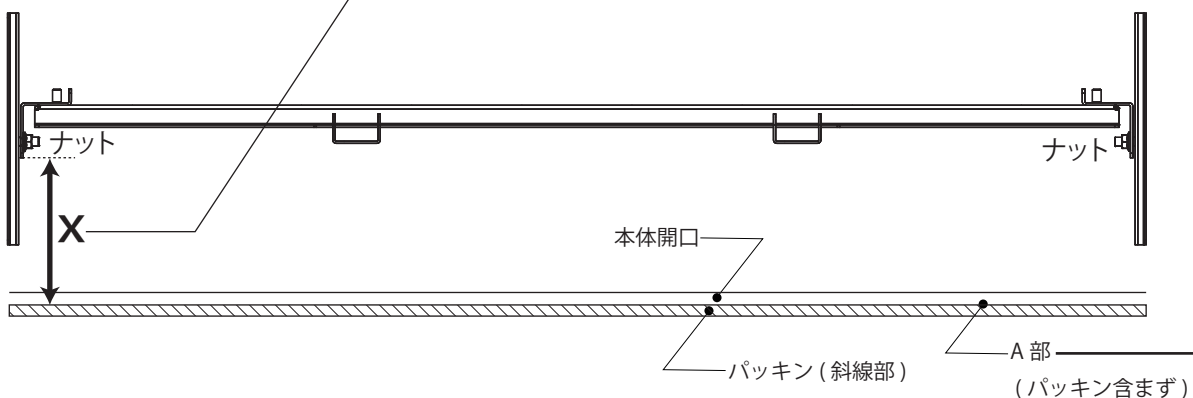


「ブラケットベース」の位置調整はディスプレイを外した状態で行ってください。



上面図

ブラケット前後調整金具の調整寸法(x)の目安は、「取り付けたいディスプレイの厚み+21mm」にしてください。

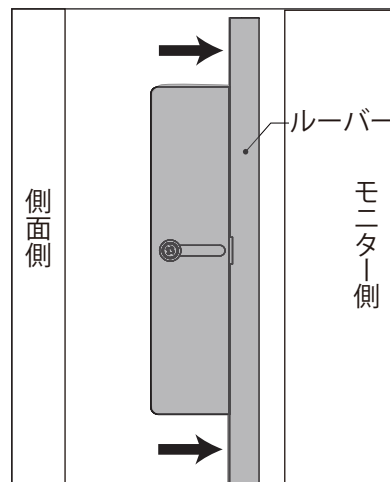
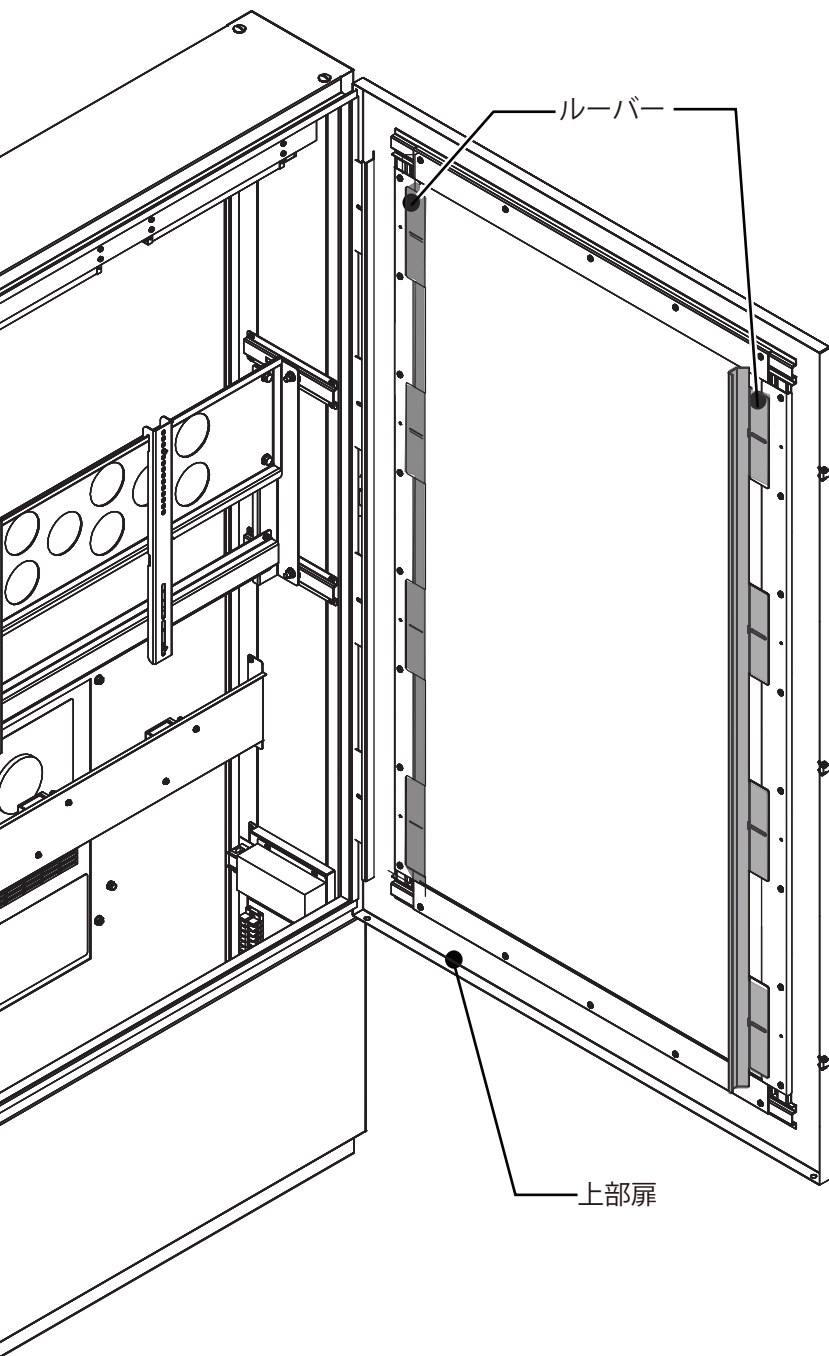


■ 「ルーバー」の調整をする

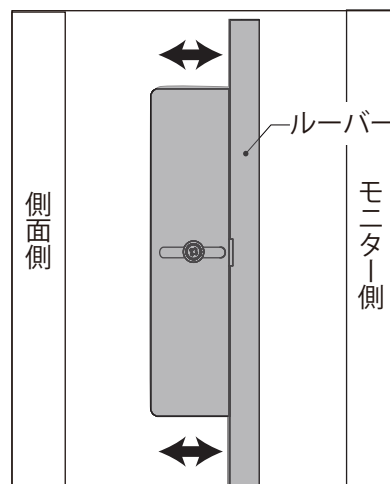
1. 「上部扉」の裏側に組み付いている「ルーバー」を調整します。
2. 下記図の位置を目安に「ルーバー」に組み付いているビスを緩め「ルーバー」の位置を左右両側移動させ、再度ビスを締め付けて固定してください。

使用する工具

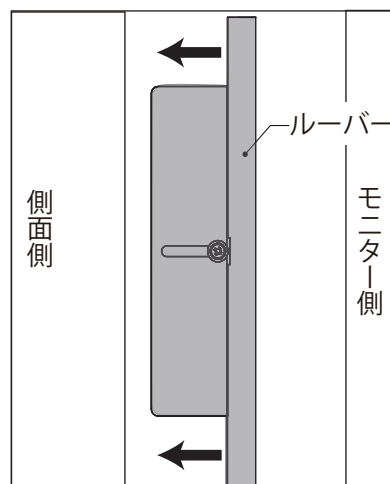
プラスドライバー (別売)



55Vの場合
「ルーバー」をモニター側へ動かす



60Vの場合
「ルーバー」を(ディスプレイ幅+
左右4mm)に動かす



65Vの場合
「ルーバー」を側面側へ動かす

■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける

付属の「座金組込ネジ (M6×14 / M6×18 / M8×20)」の中から、ディスプレイ取付穴に合ったネジを選定し、「モニターブラケット」をディスプレイに取り付けてください。

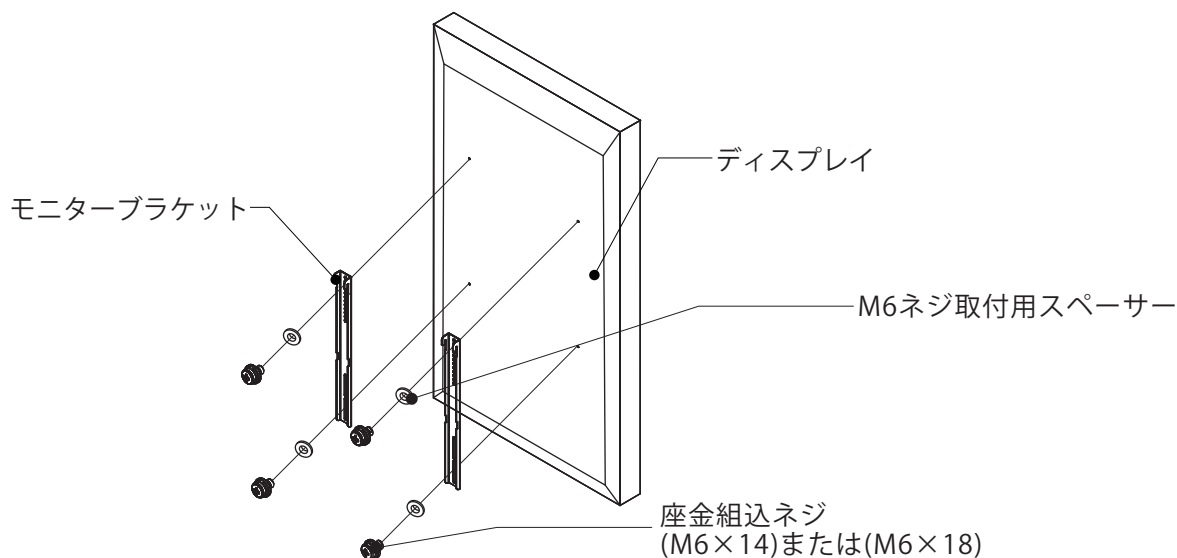
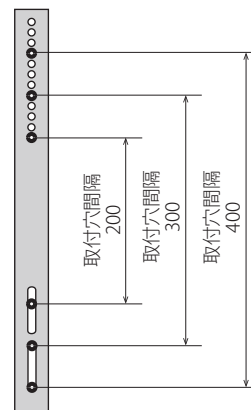
「モニターブラケット」の取り付け位置は、右の図を参照してください。

使用する工具

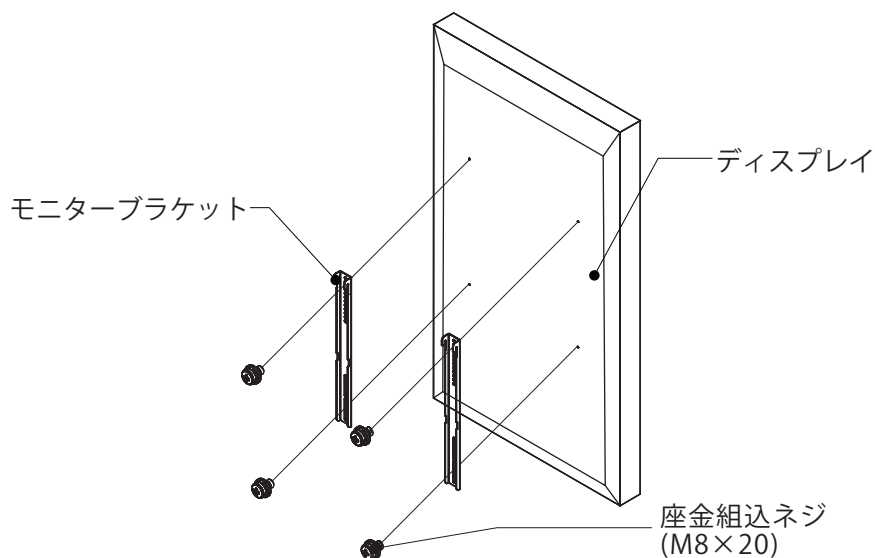
プラスドライバー (別売)

取付穴径がM6のディスプレイ

※M6ネジ使用時のみ「M6ネジ取付用スペーサー」を使用してください。



取付穴径がM8のディスプレイ



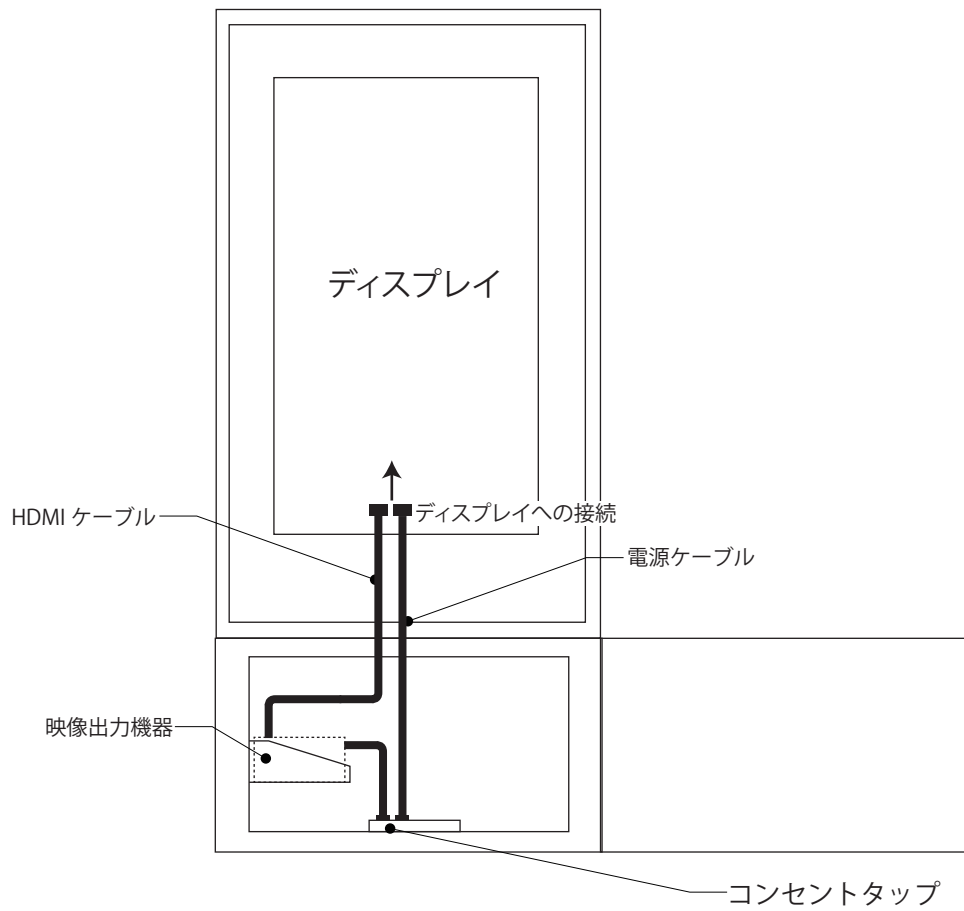
取り付けの際は、取付穴の太さ、深さをディスプレイ取扱説明書・メーカーホームページなどでご確認の上、太さ、深さに合ったネジを選定してください。



ネジは確実に締め付けてください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

■ ディスプレイ配線の通し方

1. 「下部扉」を付属の「鍵」を使って開けてください。
2. 図のようにケーブル類の配線をしてください。



■ 運転方法

1. 「ブレーカー」を「ON」にして電源を投入してください。

❗ 運転を開始する前に、電気配線が確実に行われているか確認してください。

2. 「エアコン」が運転を開始します。

※必要に応じて設定温度を変更してください。(初期設定値 35℃)

※詳細については別冊「エアコンの取扱説明書」を参照してください。

⚠ 電源投入後、蒸発気側のファンが回転しますので、指などを入れないようにご注意ください。

⚠ 電源投入直後及び冷却運転停止後3分間は、コンプレッサ保護のため設定温度まで上昇しても冷却運転を行いません。

⊘ 「エアコン」の設定温度は35度以上にしないでください。

3. 「温度センサー」の設定値以下の場合、「ヒーター」が作動します。(初期設定値 10℃)

⊘ 「ヒーター」の設定温度は10℃以下にしないでください。

4. 運転を停止する場合は、「ブレーカー」を「OFF」にしてください。

❗ 接続している各機器の電源が正常に切れていることを確認してください、電源が入っている状態で「ブレーカー」を「OFF」にすると故障の原因になります。

⚠ 「ブレーカー」を「OFF」の状態、長時間放置しないでください。内部温度の上昇、または内部に結露が発生した場合、機器の故障の原因になります。

屋外ケーシング 電源部

